

令和7年度第1回釜石市立栗橋公民館運営審議会開催結果

1. 日 時 令和7年5月27日（火） 13時30分～14時50分
2. 場 所 橋野ふれあいセンター会議室
3. 出席委員 7名（全委員出席）
川崎悦三郎委員長、八幡和郎副委員長、遠藤朱実委員、
小笠原春美委員、川崎通委員、高橋昭英委員、八幡裕子委員
4. 事務局等 市民生活部 佐々木部長
まちづくり課 佐藤課長、浦城主査
栗橋公民館 二本松館長、三浦主査

5. 傍聴者 なし

6. 結 果

・二本松館長が開会を宣言した後、佐々木市民生活部長の挨拶に続き、事務局から令和7年度釜石市立栗橋公民館運営計画（案）について説明。質疑応答の後、事務局提案のとおり承認された。

【主な発言等】

〔議長〕

・1の乳幼児期を中心とした事業。栗橋で参加者が無いのは残念だが、子供が少ないから仕方ない。

〔委員〕

・どんぐり苗の植樹については、予定通り5月30日金曜日に行く。

・野菜栽培は、学校の畑を使ってやるが、そのことで明日、三科さんと協議する。トマト（昨年度は「すずこまトマト栽培」）かどうかわからないが、子供たちも楽しみにしている。三科さんも「ぜひぜひ」といっている。

〔課長〕

・健康クッキング「男の料理教室」ではなかなか人が集まらない。小佐野地区でもやっていたが、人数が少なく減っていった。そのため、当初は小佐野地区の方だけを限定していたのが、市内どの地区から来られても受け入れてやりましょう、ということになった。

・また、女性の受け入れもあってもいいのではないかという事で、今復活し、定期的にやられている。向定内にも男の料理教室があるが、男性も女性も参加している。甲子地区も昨年度から復活した。いろんなところ（地区）との交流もいいのではないかと考える。

・チームオレンジについて、こさのジュニアというのをやった時に、小学校は近くの福祉事業所と協力し、定期的に福祉の事業というものを取り入れていた。小

さい頃から福祉に触れる機会をつくるのは良い事だと思っている。

- ・平田では授業を受けた中学生が、認知症の方をコンビニのところで見つけて、服を着せたり、いろいろやって警察に通報して事なきを得た。
- ・何か校長先生にちょっとお願いでもないんですけど、そのへんは近くに愛恵会もあるので、うまくできないかと。

〔議長〕

- ・健康クッキングは新規か。

〔館長〕

- ・新規ではないが、ここ最近では実施に至っていない。新規はチームオレンジ。

〔議長〕

- ・クッキング、砂子畑の男性がやっていたが。

〔委員〕

- ・そば打ちとかやっていた。自然消滅した感じ。

〔委員〕

- ・地区的に元気であればいいが、高齢化も進んでいる。

〔委員〕

- ・料理を作ったものをみんなで食べる。それもまたいい。交流になる。

〔館長〕

- ・昨年度、チームオレンジもだが、子ども食堂を初めて栗橋地区で実施した。実施に際しては、愛恵会と徳栄会の協力を得た。

・小さい頃から福祉に触れさせたい思いがある。介護職も不足している。ゆくゆくは施設の入所者と交流を図りながら実施していきたい。

〔委員〕

・子ども食堂のイメージは、学校から帰っても粗食であったり、家に誰もいないとか、そういった環境の子供たちを対象とする感があった。町場のほうでは、そういった子供を対象とした子ども食堂はあるのか。

〔館長〕

・そのような意味での開催は、来るのに引け目を感じる子供もいるだろうと、誰でもウエルカムとしている。

〔課長〕

・首都圏では、そのような子供を対象としている場合が多いが、田舎では参加している子供が限定してしまい、周囲もわかってしまう。釜石で小佐野が一番最初に開催した時に、その辺がネックとなった。

・今は、地域の方々と子供の居場所づくりとか、交流の場としてスタートしようと、それが釜石版としてはいいのではないか、という意見だった。

〔委員〕

・たまたま、そのような方と話したことがあるが、今言ったみたいに、小さな学童みたいなどころをつくりたいと。ご夫婦だったが、家に帰っても 1 人だったりとか、そういう場合は「居場所をつくってやりたい。」と話していた。

〔課長〕

・盛岡の地域を見てきたが、学童でお菓子とかケーキの提供をしている。帰りに寄って時間をみて家に帰る。

・釜石での実施主体は民生委員さんが多い。町内会もやっている。

〔議長〕

・小物づくりとかはどうなったのか。

〔館長〕

・出来ないのは止めようと思う。

〔議長〕

・それでいいと思う。

・4 の高齢期を中心とした事業、みんなの輪交流会についてはどうか。

〔館長〕

・卓球バレーだが、もともとは橋野で実施していた。これを栗林にも広めたい。昨年、栗林にも体育協会に入っていた。

・今年体育協会では、「交流大会を実施するかもしれない」と話していた。栗橋地区も参加していただきたいと思い、計画に入れた。

〔議長〕

・地域間の交流につながり、良い事。

・出前講座はどんどん活用した方がいい。

〔館長〕

・昨年度、出前講座で龍澤学館のヨーガを申し込んだが、調整がつかなかった。今年はどうか。

〔課員〕

・今年度も今からでは難しい。

・年間 50 件は出前講座の申し込みがある。4 月からはプラゴミが始まり、出前講座で生活環境課がフル稼働している。

〔議長〕

・出前講座のメニューは地域に持ち帰ってどんどん利用してほしい。

・みどり通信は、以前 1 日発行の検討もあったが、その点はどうか。

〔館長〕

・8 公民館中、栗橋と釜石公民館が 15 日発行。釜石広報の発行が月 1 回という話も出たことがあり 1 日発行を検討したが、当面はこのままでいきたい。

〔課長〕

・各公民館で発行時期が違っていると、お知らせなどの掲載時期もずれるので検討した経緯がある。発行時期は地区によって異なるが、今のところそれでいいかと。

〔委員〕

・学校の広報について、今年3月までは全戸配布していたが、リソグラフの引き上げや、協力金がなくなり、全戸配布が出来なくなった。市のホームページに掲載することは可能か。

〔館長〕

・教育委員会の関係かと。教育委員会に伝えておく。ただ、栗橋地区は特に高齢者が多い。ホームページでどこまで情報が住民に伝わるか、疑問に思うところがある。

〔委員〕

・遠くにいる人が公民館だよりを見て、釜石の情報収集できることは良い事。カラーで見やすい。ホームページと紙の両方併用が一番良い。

〔館長〕

・学校では広報の予算がなかなか取れないようなので、用紙の提供を申し出たことがある。学校からは回覧板はどうかとのことであった。回覧板は地域の方々の負担にもなり、今まで通り紙で全戸配布するのが良いと思う。

〔委員〕

・高齢者が多い地域なので、回覧板は負担がある。途中で回覧が止まったり。地域にあわせた形でいいと思う。

〔議長〕

・その他、何かあるか。

〔課長〕

・今年度、「釜石市本のまちプロジェクト」がスタートする。まずは出来ることから始めたい。

・図書館から借りた本を、各地区生活応援センターで返せる仕組みをつくりたい。貸す方もやりたかったが、図書館とのルールもあり、調整がついていない。

・移動図書館から借りた場合も、返す日に用事があるとかで都合がつかないこともあると思う。その場合、生活応援センターを通じて返す。そういうサービスをやっていきたい。

・生活応援センターをはじめ、「どこでも・誰でも、本を手軽に・身近に」手にする事ができるような仕組みをつくることを今検討している。

・周知の方法は、公民館だよりや、書店にも協力をいただき、例えば「書店が勧める今月の本」というものを、広報に掲載するスペースを設けていただくことを協議している

〔委員〕

- ・中妻公民館では本が並んでいるが。

〔課長〕

- ・中妻公民館はいち早く企画展を実施し、本を並べている。図書館に団体申し込みをすると、1か月で30冊～50冊借りる事ができる。
- ・クリスマスシーズンはクリスマスの本を借りて置いたり、お雛様の時には、お雛様に関連する本を置いたり、これもいい活動。ちょっとしたスペースでいいので、各公民館長とも話しをしている。
- ・また商店街にも本を置いていただくよう依頼している。薬局も協力していただけるという話もあり、関係部署と協議している。

〔委員〕

- ・橋野ふれあいセンターには古い本がたくさんある。片づけたいと思い、関係者に話したが、「持ってきた人たちの気持ちもあるので難しい。」と言われた。
- ・本の好みも様々ある。片づけるのではなく、貰いたい人が居たら貰えるという事ではどうか。

〔課長〕

- ・確かに、趣向は様々。地区によっても異なる。公民館どうしても本を交換するなど、そのようなことも良いのではと考えている。

〔館長〕

- ・橋野ふれあいセンターの本は、橋野町振興協議会が管理している。
- ・学校統合や取り壊しなど管理が難しい場合、本は橋野ふれあいセンターに持ち運ばれることも想定される。いずれは、片づけなければならない。橋野町振興協議会と協議していく。

〔委員〕

- ・旧橋野小中学校には、様々な賞状や、懐かしいビデオなどが保管されている。それを今後どうしたらいいか課題であり、良い方法を考えていきたい。

〔議長〕

- ・その他、何かあるか。

〔委員〕

- ・なし

〔議長〕

- ・無いようなので、以上で協議を終了する。

〔館長〕

- ・本日皆様からいただいたご意見を参考に、今年度の活動に活かしていく。引き続きご協力をお願いしたい。
- ・これをもって、令和7年度第1回釜石市立栗橋公民館運営審議会を閉会する。